

I. 研究分野

労働経済学、公共経済学、応用ミクロ経済学

II. 研究分野 (英語表記)

Labor Economics, Public Economics, Applied Microeconomics

III. 修士課程学生の履修要件

以下の4つ全てを満たすこと。

1. 研究課題と研究手法が私の専門にマッチし、指導可能であること(私の研究分野の詳細は、私のホームページを参照のこと)。
2. 原則として2年次から履修すること(1年次はコースワークに集中し、研究するための基礎理論の習得に注力すべき)。
3. 研究者養成コースは上級ミクロ経済学と上級計量経済学、修士専修コースは中級(上級)ミクロ経済学と中級(上級)計量経済学を1年次に履修し、B以上の成績であること。A以上の成績が望ましい。
4. Stata や R などの実証分析のツールが使えること。

IV. 選考期間および方法

面接で質疑応答を行い、実際に指導するか決定する。そのため、3月までのできるだけ早い段階で、大学・大学院の成績表と以下の要件を満たす研究計画書(複数のアイデア可)を添付して私にメールして面接のアポイントメントを取ること。3月までに面接を行う。

- 1) research question(s)
- 2) why the question is important and how it relates to the existing literature
- 3) the institutional background
- 4) the data and variables you will use
- 5) your identification strategy (how to use the data to answer your question)

V. 指導方針

履修者は自分の研究の進捗状況を定期的に報告することが求められる。教員はそれに対するコメントを行う。履修者と相談の上、実際の開催時間を決定する。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

上級ミクロ経済学と上級計量経済学が B 以上の成績であること。A 以上の成績が望ましい。

VII. 共同開講者に関するメモ

VIII. 詳細リンク先 URL